

資料 1

2021 年度事業計画

自令和3年 4月 1日 至令和4年 3月31日
公益財団法人 大平正芳記念財団

事業計画概要

公益財団として3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学術センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」について、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第37回大平正芳記念賞 6件に対しクリスタル牌と
賞金 500万円

- ① 佐藤 若菜氏 (新潟国際情報大学国際学部国際文化学科准教授)
『衣装と生きる女たち—ミャオ族の物質文化と母娘関係』
京都大学学術出版会 2020年
- ② 加治佐 敬氏 (青山学院大学国際政治経済学部教授)
『経済発展における共同体・国家・市場：
アジア農村の近代化に見る役割の変化』
日本評論社 2020年
- ③ 板山 真弓氏
(東京大学総合文化研究科アメリカ太平洋地域研究センター助教)
『日米同盟における共同防衛体制の形成
—一条約締結から「日米防衛協力のための指針」策定まで』
ミネルヴァ書房 2020年

- ④ Ulrike Schaede氏(カリフォルニア大学サンディエゴ校)
『The Business Reinvention of Japan:
How to make sense of the New Japan and Why it Matters』
Stanford Press 2020年

特別賞

- ⑤ 高須 正和・高口康太氏編著
『プロトタイプシティ 深圳と世界的イノベーション』
角川書店Kindle版 2020年
- ⑥ 永吉 希久子氏(東北大学大学院文学研究科准教授)
『移民と日本社会 データで読み解く実態と将来像』
中公新書 2020年

(2) 第34回学術研究助成費 該当者無し

(3) 岩手大学大学院奨学金 応募無し

2 北京日本学研究センターとの共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

(1) 第17回「日本語優秀学位論文大会」の開催

※6月20日前後(卒業式に合わせ)に表彰式を行う。

(2) 大平学校40周年、北京日本学研究センター35周年

9月北京にて、記念展示会、シンポジウム、懇親会を行う。

(3) 9月に、日本在住の大平学校卒業生の40周年記念イベント開催

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

(1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業。

① 大平正芳記念館の運営のサポート

- (2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行と無償配布の事業
- ① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行
 - ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット
 - イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(2020年6月から2021年5月まで)リーフレット
 - ② 「大平正芳記念財団レポート」第39号の発行
 - ③ 「硯滴考9、10」の発行
 - ④ 「大平総理訪中40周年記念書籍」(仮称)の発行
- (3)HPの更新、記念館紹介ビデオ、FACEBOOKでの広報活動